



2021年8月13日

各位

会社名 株式会社 安楽亭
 代表者名 代表取締役社長 柳 先
 (コード番号 7562 東証第二部)
 問合せ先 総務人事部 町田 英之
 (TEL 048-859-0555)

(訂正・数値データ訂正)「2022年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
 一部訂正について

2021年8月10日に発表いたしました「2022年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がございましたので下記のとおりお知らせいたします。また、数値データ(XBRLデータ)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも提出いたします。

記

1. 訂正の理由

「2022年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、記載事項の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。なお、今回の訂正による損益への影響はございません。

2. 訂正の内容

訂正の箇所は下線をつけて表示しております。

○サマリー情報

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(訂正前)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	<u>5,298</u>	<u>0.6</u>	△848	—	201	—	98	—
2021年3月期第1四半期	5,268	35.2	△1,084	—	△1,032	—	△1,152	—

(訂正後)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	<u>5,257</u>	<u>△0.2</u>	△848	—	201	—	98	—
2021年3月期第1四半期	5,268	35.2	△1,084	—	△1,032	—	△1,152	—

○添付資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(中略)

(訂正前)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高52億98百万円（対前年同期比0.6%増）、営業損失8億48百万円（前年同期は営業損失10億84百万円）、経常利益2億1百万円（前年同期は経常損失10億32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11億52百万円）となりました。

(訂正後)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高52億57百万円（対前年同期比0.2%減）、営業損失8億48百万円（前年同期は営業損失10億84百万円）、経常利益2億1百万円（前年同期は経常損失10億32百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益98百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11億52百万円）となりました。

(中略)

③ アークミール

(中略)

(訂正前)

以上の結果、アークミールの当第1四半期連結累計期間の売上高は28億26百万円（対前年同期比1.1%増）となり、セグメント損失（営業損失）は4億10百万円（前年同期はセグメント損失6億76百万円）となりました。

(訂正後)

以上の結果、アークミールの当第1四半期連結累計期間の売上高は27億85百万円（対前年同期比0.4%減）となり、セグメント損失（営業損失）は4億10百万円（前年同期はセグメント損失6億76百万円）となりました。

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,268,414	5,298,343
売上原価	1,998,029	2,096,091
売上総利益	3,270,384	3,202,251
販売費及び一般管理費	4,354,864	4,009,517
営業損失(△)	△1,084,479	△848,054
営業外収益		
受取利息	1,166	814
受取配当金	1,200	1,675
受取地代家賃	14,806	17,488
助成金収入	56,051	1,058,986
その他	10,147	6,822
営業外収益合計	83,373	1,085,786
営業外費用		
支払利息	20,454	27,637
賃貸収入原価	9,530	7,937
その他	959	387
営業外費用合計	30,943	35,962
経常利益又は経常損失(△)	△1,032,050	201,769
特別利益		
固定資産売却益	—	1,954
特別利益合計	—	1,954
特別損失		
固定資産除却損	4,428	3,745
減損損失	—	2,274
賃貸借契約解約損	56,731	6,103
特別損失合計	61,159	12,123
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,093,210	191,601
法人税、住民税及び事業税	15,223	30,826
法人税等調整額	43,587	62,240
法人税等合計	58,810	93,066
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,152,020	98,534
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,152,020	98,534

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	5,268,414	5,257,555
売上原価	1,998,029	2,096,091
売上総利益	3,270,384	3,161,463
販売費及び一般管理費	4,354,864	4,009,517
営業損失(△)	△1,084,479	△848,054
営業外収益		
受取利息	1,166	814
受取配当金	1,200	1,675
受取地代家賃	14,806	17,488
助成金収入	56,051	1,058,986
その他	10,147	6,822
営業外収益合計	83,373	1,085,786
営業外費用		
支払利息	20,454	27,637
賃貸収入原価	9,530	7,937
その他	959	387
営業外費用合計	30,943	35,962
経常利益又は経常損失(△)	△1,032,050	201,769
特別利益		
固定資産売却益	—	1,954
特別利益合計	—	1,954
特別損失		
固定資産除却損	4,428	3,745
減損損失	—	2,274
賃貸借契約解約損	56,731	6,103
特別損失合計	61,159	12,123
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,093,210	191,601
法人税、住民税及び事業税	15,223	30,826
法人税等調整額	43,587	62,240
法人税等合計	58,810	93,066
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,152,020	98,534
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,152,020	98,534

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(訂正前)

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。なお、当該変更による影響は軽微であります。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(訂正前)

(会計方針の変更等)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該変更による影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	アークミール	その他業態	計			
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	2,047,533	367,064	<u>2,826,357</u>	57,388	<u>5,298,343</u>	<u>5,298,343</u>	—	<u>5,298,343</u>
外部顧客への 売上高	2,047,533	367,064	<u>2,826,357</u>	57,388	<u>5,298,343</u>	<u>5,298,343</u>	—	<u>5,298,343</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,047,533	367,064	<u>2,826,357</u>	57,388	<u>5,298,343</u>	<u>5,298,343</u>	—	<u>5,298,343</u>
セグメント損失 (△)	△237,754	△48,698	△410,436	△23,112	△720,002	△720,002	△128,051	△848,054

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	アークミール	その他業態	計			
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	2,047,533	367,064	<u>2,785,569</u>	57,388	<u>5,257,555</u>	<u>5,257,555</u>	—	<u>5,257,555</u>
外部顧客への 売上高	2,047,533	367,064	<u>2,785,569</u>	57,388	<u>5,257,555</u>	<u>5,257,555</u>	—	<u>5,257,555</u>
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,047,533	367,064	<u>2,785,569</u>	57,388	<u>5,257,555</u>	<u>5,257,555</u>	—	<u>5,257,555</u>
セグメント損失 (△)	△237,754	△48,698	△410,436	△23,112	△720,002	△720,002	△128,051	△848,054

以上